エリアNo. 16

桜井南

大化の改新で有名な談山神社等の寺社と倉橋ため池等、歴史と自然あふれる地区

整備のコンセプト：

多武峰周辺のモミジや農村資源を活かした彩りの魅力向上

◆植栽景観の現状の課題

- モミジを中心とした秋の彩りが多く、良好な景観が保全されているが、一部里山や農地等の未利用地の存在により魅力が低下しているところがある。
- 四季を通じた彩りが不足している。

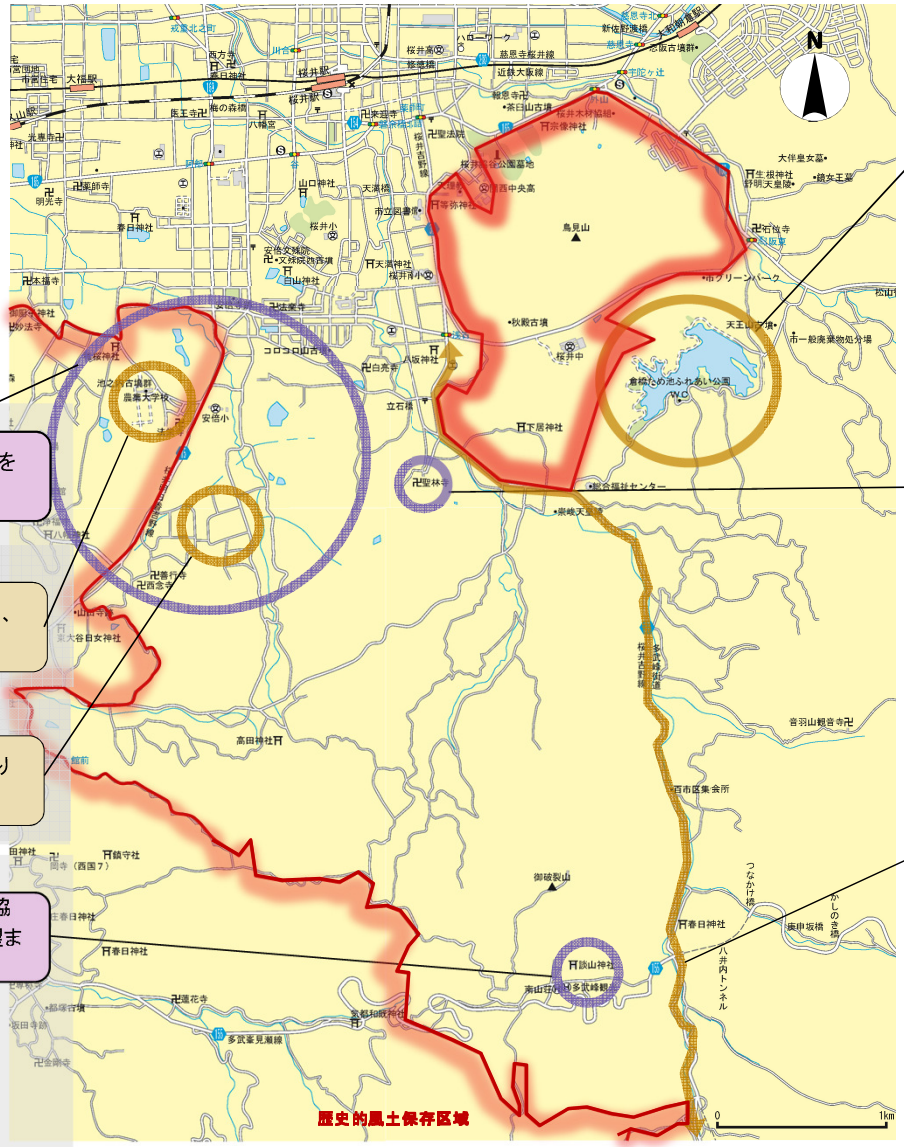
課題解決への主な対応

- 四季折々の植栽景観の充実
- 未利用地の有効活用
- 協働による植栽の維持管理の推進

【今後の連携方策】　市、神社、地域住民等との協働に向けた取り組みの働きかけや支援方策の検討。

◆エリアの特徴的な景観

談山神社



□安倍周辺

長期　農地を含む田園風景を維持保全し、彩り魅力の向上を図ることが望ましい

□農業研究開発センター周辺

短期　農業研究開発センター内の植栽整備による魅力向上、および支障木伐採等による眺望の確保を図る

□なら食と農の魅力創造国際大学校周辺

長期　なら食と農の魅力創造国際大学校周辺の賑わいづくりを進め、併せて彩りによる魅力向上を図る

□談山神社周辺

長期　モミジの群生化や、あじさい等彩りある植栽を行い、協働により新たに名所となる景観の創出を図ることが望ましい

現況写真

□倉橋ため池周辺

イメージ図

長期　湖面に映る四季折々の景観を検討し、やすらぎ空間の創出を図る

現況写真

整備イメージ

□聖林寺周辺

長期　未利用地の営農再開や花の植栽等を行い、聖林寺周辺の美しい眺望の保全や田園風景の再生を図ることが望ましい

現況写真

□県道37号桜井吉野線沿道

長期　沿道のモミジ群生の保存等により、景観の魅力向上を図る

現況写真

県が主体となる事業　協働事業